

一人ひとりが未来に向けて生きる
 気概と創造が生まれる空間を

profile

こうま けいこ
 高麗恵子さん

東京都出身。平和活動を行うNPO法人「高麗」を立ち上げ、2000年より中東、アフリカなどを歴訪。いだしん氏との共演によるチャリティーコンサートを開くなど、国際協力に貢献する。現在は東北における被災地支援に尽力する傍ら、日本各地で「本音で生きて下さい」と題した講演会を開催している。



高麗さんが制作したタペストリーやアフリカの写真などが飾られたナチュラルテイストな店内。



「いだしん焙煎スペシャルコーヒー & Sweets set」(1300円、写真のスイーツは「山元いちごのバナナコッタ」)。



世界三大原種の一つであるエチオピア豆のコーヒーなどを提供する。「現地ではコーヒーは古くから薬としても飲まれていたとか。そんな「元気になるコーヒー」をぜひお楽しみください」と高麗さん。

Cafe 高麗屋 koma-ya
 かふえ こまや

⑧仙台市青葉区一番町2-4-19
 シリウス一番町ビル1F
 ☎022-724-7735
 http://sirius-ichibancho.com/komaya/
 ⑨11:00~20:00 (LO19:30)
 ⑩無休



被災地支援の二環として
 安らぎのカフェをオープン

NPO法人代表として、精神的に活動する高麗恵子さん。平成12年に深刻な飢餓のエチオピアを支援で訪れた。「偶然、飢餓の支援で訪れたエチオピアはコーヒー発祥の地でもありました。しかし、搾取がある限りエチオピアは貧困から抜け出せない。美味しいコーヒーを美味しいままで広めてほしいと依頼されました。」そうして誕生したのがアンドロメダエチオピアコーヒービジネスだ。そんな彼女が、「東北の復興なくして日本の未来はないと感じ、東北の地に来ました」と、人生をかけて取り組んでいるのが、東北の被災地復興支援である。岩手県沿岸部から始まり、被災地となった岩手、宮城、福島で、世界的に活躍するアーティスト・いだしん氏とチャリティーコンサートを継続的に開催。昨年10月には、宮城県山元町にあるいちご農園代表の復興に取り組む姿勢に共感し、園内にコーヒー豆の焙煎工房を開設。夢と希望のある仕事を指している。そして今年7月、仙台の街中にカフェを開いた。「東北の地に永遠に輝く光を」と願い「Café高麗屋」をつくりました。皆様のお越しを心よりお待ちしております。一杯のコーヒーには東北の明るい未来へ向けた高麗さんの心が込められている。